

目的 前報において綿布の洗浄過程で、市販洗剤に配合されている各種ビルダーのそれぞれが、同時に配合されるFBAの染着と増白効果に及ぼす影響ならびに各種ビルダーを同時に配合した場合の総合効果を、トリアジニルステルベン系直接染料型FBA(I)を用い検討してきた。本報では引き続き、化学構造の異なる2,3のFBAを用いて比較検討を行なった。

方法 試料布は、未増白40番綿ブロードを用いた。使用洗剤は、界面活性剤にAOS-Naを用い、各種ビルダーの配合量はJIS衣料用指標洗剤の配合を基準とし、配合の組み合わせは前報と同様にして、FBAの種類のみを変えて染着率・増白効果に及ぼす影響を比較検討した。洗浄条件(濃度0.15%, 洗浄水0,5, 10°DH, 40°C, 10分, 恒温振とう機使用)と染着率及び洗浄布の増白効果の測定方法(島津カラーパックシステム使用)は前報と同様である。

結果 前報で使用したFBA(I)と同じトリアジニルステルベン系FBA(II)の結果を比較すると、ゼオライト単独配合洗剤におけるFBAの染着率と増白効果は、洗浄水硬度0~10°DH水の範囲内では、各ゼオライト濃度ともFBA(I)より染着率は高い。しかし洗浄布の増白効果には染着率にみられるほど顕著な差はない。また、洗浄水の硬度が高いほど、染着率が高いのは、FBA(I)と同じ傾向である。他のビルダーおよび各種ビルダーを同時に配合した洗剤についても検討した。

